



国際ロータリー 第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成 28 年 8 月 9 日 (火) 第2770回 例会 (本年度第 5 回)

8月23日 (火)	だだちゃ豆家族例会
8月30日 (火)	ゲストスピーチ 青少年交換学生 菅江果子さん (米国テキサス州) クラブ協議会①
9月 6日 (火)	会員スピーチ
9月13日 (火)	ガバナー公式訪問例会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長/加藤 亨

先週はロータリーの行事も特別ありませんでしたので、仕事に専念させていただきました。

鶴岡に勤務していた時は殆ど無かった東京への出張に行ってきましたが、大変暑く普段あまり歩くことも無いので汗だくになり、できれば仕事での東京へは夏には行きたくないと感じました。

オリンピックも開幕し、みなさんもテレビなどで観戦されていると思います。小関選手も 100m 平泳ぎで決勝に進出、メダルには届かなかったのですが見事 6 位入賞でした。今後の 200m とメドレーリレーにメダルの期待をしながら応援していきたいと思います。

オリンピックに隠れていた夏の甲子園大会、鶴岡東高校は先制しましたが 3 対 5 で残念ながら 1 回戦で敗退してしまいました。

今週からは盆休みに入ります。今年から 8 月 11 日が山の日という祝日になり、いろいろ違いは有ると思いますが、例年より早く連休に入る会社も多いと思います。

山の日の趣旨としては「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する。」とされているようです。自然に親しむ目的の祝日には 7 月第三月曜日の「海の日」があります。山の日の日程については祝日の無い 6 月の案もありましたが、山開きが遅いところもあり 8 月に決まり日にちも当初連休を取りやすくするために 12 日で検討もされたようですが、昭和 60 年 8 月 12 日の日航機墜落事故の慰霊祭等との兼ね合いで 12 日になったようです。

いずれにしても連休になって普段なかなか会うことの出来ない家族や友人との時間を有意義に過ごしていただければと思います。

私は、会社の停電作業の手伝いでもした方がいいのかとも思っていますが、私が現場に行って邪魔も出来ないのはどうしたら良いか思案しております。来週の例会は休会ですので、次回の例会は 23 日のだだちゃ豆家族例会となります。

30 日にはガバナー補佐を交えての今年度 1 回目のクラブ協議会を例会終了後に場所を変えずに行いますので皆さん出席するように予定してください。

毎日暑い日が続いています。健康に注意して楽しい盆休みにしていただければと思います。

生きがいを趣味に求めて

マジシャン まぎー (小竹 郁弥氏)

教育一筋に 38 年間。勤め先と学校との行き来のみで、家に帰っても夜遅くまで学校の仕事に追われ、同僚と酒を飲んで息抜きの時も、話すことは「教育の事」など。しかも、いくら夜更かしをしても、子供が登校する一時間前までには出勤する。365 日 24 時間勤務の 38 年であったように思う。定年退職の日 3 月 31 日、今でも思い出される。体中が空っぽになって退職辞令交付式の会場を出た時、空がこんなに広いものか、こんなにきれいなものかと思っ



出席報告

会員数	33名
出席	20名
出席率	71.43%
前々回確定出席率	96.42%

RI 会長 ジョン・F・ジャーム 地区ガバナー 長谷川 憲治

会長/加藤 亨 副会長/武田啓之 幹事/富田喜美子 会長エレクト/木村 節
会報委員会/阿蘇司朗・迎田 健・菅原成規・前田 優・真島吉也

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376



た。

退職数ヶ月前、お世話になった校長先生より「軟着陸されるように」といわれ、趣味の会に飛び込んだ。当初七つもあったのが、次の勤め

があったため、次々と辞めていった。仕事と趣味は両立できないものかと思った。趣味はあくまでも生活、仕事をしていくための潤滑油であるのかもしれない。

現在は剣舞、絵手紙、マジック、似顔絵、時には料理教室、今は日本舞踊などである。脳の活性化と人間関係の広がり生き方・考え方が弾力的になり、豊かさが生ずるのではないかと思う。剣詩舞は年六回くらい発表する機会があり、仲間と楽しさを共有している。マジックはこの道 50 年の先生より指導を受けている。絵手紙は自分流で、テーマもその時々感じたものを気ままに描いている。似顔絵は似顔絵師認定を目指しての通信講座である。日本舞踊は月二回師範の先生より指導を受け、これまで四ステージを踏んでいる。

①目標を持つこと ②運動で汗をかく ③多くの方と触れ合う ④緊張感を作る ⑤作り描き想像力を ⑥生活を単調にしない ⑦気持ちを半歩前に出す、そんなことを自分に言い聞かせ、生きがいをつくり出そうと思う。

マジックを趣味としたことから、介護施設、老人センターでボランティアできる事がある（月 3～4 回）。少しでも世の中の人のためになっていると自己満足している。下手なマジックも喜んでくれる。逆に自分が元気をもらっている事かもしれない。命と命が関わり、生きるということの意味を感じさせてくれる。

最後に「マイナスをプラスに変える」常にプラス思考で今後も生きていきたいと思っている。

小竹郁弥氏略歴

昭和 33 年 3 月 鶴岡南高普通科卒業

昭和 37 年 3 月 山大教育学部卒業

昭和 37 年 4 月 余目第一小学校教諭

～これより教員生活 38 年を過ごす～

平成 12 年 4 月 温海町公民館長

生涯教育研究所長

平成 13 年 4 月 温海町教育長

平成 24 年 瑞宝双光章叙勲

現在、山形市で娘夫婦の孫守のため家内と生活している。土・日は鶴岡で過ごす。

剣聖流剣詩舞師範・日本造形教育認定似顔絵師

福島親子支援を

福島の子どもの未来を守る家代表 高橋ゆう子氏



本日はパンフレットと資料を配らせていただきました。東日本大震災と福島原発事故の被災者の支援活動をしています。とりわけ子どもへの放射能の影響を心配している福島の親子から鶴岡に来てもら

らい、保養をしてもらおうと活動しています。放射能汚染が収束していない中で様々な事情により避難できない親子にせめて学校が休みの間だけでも放射線量のクリーンなところで心身ともに休んでもらおうと 2011 年の 7 月にこの会を立ち上げました。鶴岡には空き家が増えています。このような事情なら空き家を貸しますよという家主を探して無料で提供していただいています。今年度は三軒の家を借り、夏休みに入って伊達市から一家族、今日もいわき市より一家族来られております。子どもは外の自然の中で思いっきり遊ぶのが一番で、山大農学部の学生さん、一般市民の方、年金生活の方などがサポーターとして力を貸してくれています。最近ローターアクトの方も加わってくれ心強い限りです。最近報道されなくなりましたが、今現在でも鶴岡市には 188 名の福島から避難している方がいらっしゃいます。福島では子どもの甲状腺がんが激増しているという厳しい現実があります。甲状腺がんと診断された子どもの実に 74% はすでに他臓器にも転移がみられるということでした。未来ある子どもたちががんに侵されたり、被爆者として差別されて生きていかなければならない原発事故下の子どもたちのことを忘れないで今後も支援活動を続けていきたいと思っています。今日はお呼び頂きありがとうございました。

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

花咲屋座長 小竹郁弥氏

福島の子供の未来を守る家代表 高橋ゆう子氏

◆メイクされた方

藤川享胤君 本間厚君 佐藤友行君 加藤一弘君

阿部純次君 加藤亨君 丸山隆志君 真島吉也君

越智茂明君 菅原成規君 富樫松夫君 上野欣一君

富田喜美子君 西川富美子君



スマイル

加藤 亨君 小竹さん、楽しいマジックありがとうございました。高橋さん、ロータリーでも何か手伝いが出来ればと思います。